

平成29年 2 月 9 日（木）公開授業Ⅱ

平成29年 2 月10日（金）公開授業Ⅰ

会 場 2 階（C）（小学校 3 年 1 組）

授業者 新潟大学教育学部附属新潟小学校

教諭 八幡 昌樹

1 単元名 Oh! せんべいのヒ・ミ・ツ ― ものをつくる人の仕事 ―

2 本単元の価値

本単元では、せんべい工場（以下：工場）を取り上げる。工場の見学などを通して、原材料の仕入、生産のおよその工程といった生産の仕事に見られる様々な工夫を追究させる。そして、生産の仕事に携わる人々が、より多くの消費者にせんべいを買ってもらうために、ニーズに合わせて様々な工夫や努力をしているととらえられるようにする。

子どもが、普段何気なく食べているせんべいをつくっている人たちの工夫や努力を追究することで、自分の生活とせんべいをつくる仕事の特徴とを関連付けて考えることができることに本単元の価値がある。

その学習の過程において、特に外国から原材料を仕入れる工夫に重点を置き、外国とのかかわりの意味を追究させる。その価値は次のとおりである。

地域社会、ひいては日本は古くから外国の物や文化を上手に取り入れて自国化することによって、生活を豊かにしたり文化を発展させたりしてきた歴史がある。工場では、主な原材料であるうるち米を始め、ほとんどの原材料を世界中から仕入れて、せんべいをつくっている。それによって、私たち消費者は、いつでもおいしいせんべいを購入できたり、国内産の原材料のみを使用するよりも安価に購入できたりする。ただ、せんべいの原材料のほとんどを世界中から仕入れているという事実はあまり知られていない。日本独自のもの、新潟だからこそ思っていたせんべいづくりが、実は外国とのかかわりで成り立っている。つまり、外国とのかかわりがあることによって、生活が支えられ、豊かになっているのである。これこそが外国とのかかわりの意味である。

このように外国とのかかわりの意味を考える学習をすることで、子どもは、**空間的な広がり**に着目したり、**人々の工夫や努力に着目したりして**、自分が生活する身の回りにも外国とのかかわりのあるものが多いことに気付き、世界に関心を向けるようになる。この点においても本単元の価値がある。

3 本単元で目指す姿

自分の生活と生産の仕事に携わる人々の工夫とを関連付け、外国とのかかわりの意味を考える子ども

具体的には、「工場で働く人は、原材料を外国から仕入れる工夫をしてせんべいを安定的に供給できるようにしている。それによって自分はいつでもおいしいせんべいを食べることができる」と考える姿。

4 本単元で育成する資質・能力

①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態 度
○社会生活に関する知識 ・工場で働く人たちは様々な工夫や努力をしている。 ○具体的資料を効果的に活用する技能	○生産に関する仕事の特徴やよさ、相互の関連を多角的に考える力	○地域社会の一員としての自覚をもち、協力しようとする態度

5 指導の構想

子どもは、これまでに工場を見学して、せんべいをつくるために様々な工夫をしていることをとらえている。しかし、外国からも原材料を仕入れている事実には目を向けていない。

働き掛け 1

2種類のせんべいとパッケージを段階的に提示し、疑問に思うことを問う。

せんべいの原材料に関する問いをもたせるための働き掛けである。ここでは2種類のせんべいを取り上げる。2種類の違いは、主な原材料であるうるち米の産地である。せんべいAは国産のみでつくられたものである。せんべいBは米国産と国産を合わせてつくられており、工場を見学したときにつくっていたせんべいでもある。はじめにせんべいA、次にせんべいBを提示して、どちらも実際に食べさせる。子どもはどちらのせんべいもおいしく食べる。そして、せんべいAのパッケージを提示して、原材料であるうるち米の産地を問う。子どもは、国産米100%という表記に気付き、国産だと答える。次にせんべいBのパッケージを提示して、同じように問う。すると子どもは、「米国産、国産」という表記に気付き、「米国産」であることに驚きと疑問を感じる。そこで、疑問に思うことを問う。子どもは**原因と結果の関係に着目して**、「新潟県の国産の米を使えばいいはずなのに、なぜ米国産の米を使っているのだろうか」と考え、学習問題を設定する（①知識・技能③態度）。

働き掛け 2

学習問題に対する予想を問うてイメージマップを提示し、解決するための方法を問う。

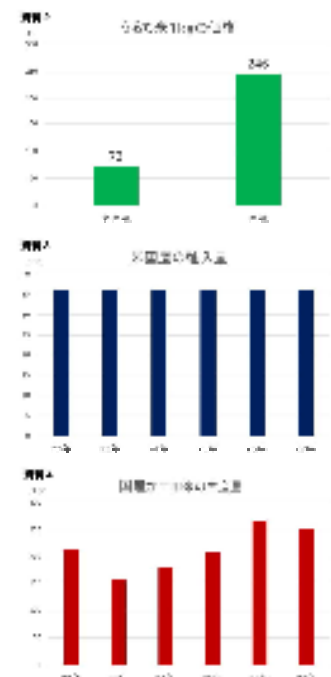
学習の進め方に見通しをもたせるための働き掛けである。学習問題を設定した子どもに、予想を問う。子どもは、**原因と結果の関係に着目して**これまでの生活経験や学習内容を想起し、「安くできる」「たくさんつくれる」などと予想する。予想の理由を問うて、イメージマップを班ごとに提示する。このときのイメージマップは、予想を一層目に、その理由を二層目に記述させる。子どもは、「スーパーのお肉みたいに外国のものの方が安いことがあるから」「おいしくなければ使っても買ってくれないから」などと予想とその理由を話し合う。さらに、学習問題を解決するために調べる内容とその方法を問い、三層目、四層目に記述させる。子どもは「使っているうるち米の値段を調べる」「工場働く人に話を聞く」などと考え、学習の進め方に見通しをもつ（①知識・技能、ツール活用能力、協働性）

働き掛け 3-①

国産と米国産のうるち米に関する資料を提示する。

主な原材料であるうるち米を米国から仕入れるメリットに気付かせるための働き掛けである。予想を基に調べる内容や方法に見通しをもった子どもに、国産と米国産のうるち米に関する資料を提示する。子どもは、**原因と結果の関係に着目して**、資料から分かることを調べる（①知識・技能）。まず、国産（246円）と米国産（72円）のうるち米の価格（円/精米kg）を比較したグラフ（2013年）を提示する。子どもは、「国産よりも米国産の方が安い」という事実をとらえる。次に、せんべいをつくる時に使われる、国内の加工用米の生産量と米国からのうるち米の輸入量とを提示する。子どもは、二つのグラフから「国産は上がったたり下がったりするけど、米国産はいつも同じで変わらない」という事実をとらえる。

これまでに分かったことから、どんなことが言えそうかと解釈を問う。子どもは、「安い」「いつも同じ」などといったことから、「安いから多く仕入れられる」「いつも同じ量だと計画しやすい」などと、せんべいをつくる時のメリットになるのではないかと、米国産を使うことにはメリットがあるのだろうと考えるようになる（②思考力・判断力・表現力）。



働き掛け3-②

原材料の産地に関する資料を順に提示する。

せんべいは、多くの原材料を外国から仕入れていることに気付かせるための働き掛けである。

まず、うるち米以外の原材料の主な産地が分かる資料を提示する。そして、「ごま…ミャンマー」のように、パッケージに書かれている原材料と対応させながら、一つずつ国名を挙げていく。子どもは、外国の名前を聞くと、その国の場所はどこにあるのだろうかに興味をもち、世界地図を欲する。そこで、世界地図を提示する。子どもは、



空間的な広がりに着目して、名前の挙がった国を探し、見付けてチェックしていく。これを繰り返していくと、多くの原材料を外国から仕入れていること、一つのせんべいだけでも多くの国々とのかかわりがあることに気付く **(①知識・技能)**。その中で、子どもは、「なぜ外国のものをたくさん仕入れて使っているのだろうか」と、さらに疑問を深め、工場で働いている人の話を聞きたいと考える。

働き掛け4

工場で働く人をゲストティーチャーとして招き、調べたいことをインタビューをさせる。

せんべいの原材料を外国産から仕入れる工夫をしていることをとらえさせるための働き掛けである。話を聞きたいと考えた子どもに、工場で働く人をゲストティーチャーとして招き、調べたいことをインタビューさせる調査活動を設定する。子どもは、外国から原材料を仕入れている理由を確かめる質問をする。工場で働く人からは子どもの質問に答えてもらう形で、原材料を外国から仕入れる理由を「うるち米は国産だけよりも米国産もある方が安定的に供給でき、味に違いはほとんどないこと」「原材料の中には外国産しかないものがあること」などを話してもらう。また、その中で、原材料を外国から仕入れているのはBだけでなくAも同じであることも説明してもらう。子どもは、**原因と結果の関係、人々の工夫や努力に着目して**、話を聞いて分かったことをメモに取りながら、原材料の中には外国から仕入れているものが多くあり、様々な国とかかわりがあること、原材料を外国から仕入れるからいつでも同じ味で生産できることといった事実をとらえる **(①知識・技能)**。

働き掛け5

外国とのかかわりがある理由、それに対する自分の考えを問い、学習を振り返らせる。

外国とかかわる意味に目を向けさせ、発揮した資質・能力を自覚させるための働き掛けである。外国とのかかわりがある理由、それに対する自分の考えを問う。子どもは、**自分の生活と関連付けたり、人々の工夫や努力に着目したりして**、「工場で働く人々は、原材料を外国から仕入れる工夫をしてせんべいを安定的に供給できるようにしている。それによって自分はいつでもおいしいせんべいを食べることができる」と考える **(①知識・技能②思考力・判断力・表現力③態度)**。これが**自分の生活と生産の仕事に携わる人々の工夫とを関連付け、外国とのかかわりの意味を考える子どもの姿**である。そして、どのような学習をして何が分かったことを問うて、一連の学習を振り返らせる。すると子どもは、みんなでイメージマップを使って予想したり、工場で働く人の話を聞いたりしたから、せんべいが外国の材料を使っている理由が分かったと考え、発揮した資質・能力を自覚する。

6 指導計画 全12時間 (36Q)

別紙「単元カード」参照

7 本時の構想<第1日目> 9/12時間 (45分授業)

(1) 本時のねらい (本時 9/12時間目)

せんべいの原材料を外国から仕入れる工夫について、2種類のせんべいを比較することを通して原材料を追究する学習問題を設定し、値段や生産量に関する資料を調べて米国産のうるち米を使う理由を考えることができる。

(2) 展 開

学習活動と子どもの姿 ☆資質・能力	教師の働き掛け
<p>1 せんべいの原材料に関する学習問題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せんべいAは、食べてみるとおいしい。 ・せんべいBは、工場を見学したときにつくっていたものだ。 ・AもBもどちらもおいしいせんべいだ。 ・国産米100%と書いてある。 ・うるち米（国産）と書かれている。 ・米国産、国産と書いてある。 ・えっ。米国産。こめこくさん。 ・米国というのはアメリカのことだよ。 ・なぜアメリカ産の米を使うのだろう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>新潟県の国産の米を使えばいいはずなのに、なぜ米国産の米を使っているのだから。</p> </div> <p style="text-align: center;">☆社会科①③</p>	<p>2 種類のせんべいとパッケージを段階的に提示し、疑問に思うことを問う。【働き掛け1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指示「せんべいAです。食べてみましょう」 ○指示「次はせんべいBです。こちらも食べてみましょう」 <ul style="list-style-type: none"> ○発問「せんべいAのうるち米の産地は分かりますか」 ※ 画像を投影し、パッケージを配付する。 ○発問「せんべいBのうるち米の産地は分かりますか」 ※ 画像を投影し、パッケージを配付する。 ○発問「何か疑問に思うことはありますか」 ○発問「みんなで考えたいことは何ですか」
<p>2 学習の進め方に見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国産を使った方が安いから。 ・たくさんつくることができるから。 ・自分と違ういろいろな予想がある。 ・友達が考えた理由を聞いてみたい。 ・イメージマップに予想と方法をつなげて考えるのだな。 ・スーパーのお肉みたいに、外国のものの方が安いことがある。 ・外国の方が広くてたくさんつくれるから。 ・米国産のうるち米の値段が分かるといい。 ・うるち米がどれくらいとれているのかが分かるといい。 ・もう一度工場の見学に行ってみたい。 ・工場の人に話を聞けばいいと思う。 <p style="text-align: center;">☆社会科①☆ツール活用能力☆協働性</p>	<p>学習問題に対する予想、解決するための方法を問う。【働き掛け2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発問「学習問題について予想しましょう」 ○発問「自分の予想と同じものに手を挙げましょう」 ○指示「それでは、なぜそのように考えたのかを班でイメージマップを使って話し合ってみましょう」 ※ イメージマップを班ごとに配付する。 ○説明「真ん中には『なぜ米国産を使うのか』と書きましょう。一つ目には予想、二つ目にはその理由を書きます」 ○発問「学習問題を解決するために調べる内容と方法を考えましょう」 ○説明「イメージマップの三つ目には、何が分かるといいか、四つ目に調べるための方法を書きます」
<p>3 米国産の米を使っている理由を資料から調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国産の米の方が値段が高くて、米国産の方が値段が安くなっている。 ・2つの値段は、170円くらい違っている。 ・米国産は安いから、せんべいをつくるときにはたくさん使えるということなのかな。 ・国産は上がったたり下がったりしている。 ・米国産はいつも同じで変わらない。 ・グラフが平らなままだということが、米国産を使う理由につながるのかな。 ・生産量が上がったたり下がったりすると、何かいいことや困ったことがあるのかな。 ・米国産を使うのは、「国産よりも安く、毎年同じ量を輸入できる」といえるというよいところがあるから。 ☆社会科①② 	<p>原材料の産地に関する資料を順に提示する。【働き掛け3-①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発問「国産（246円）と米国産（72円）の米の値段が分かる資料を用意しました。どんなことが分かりますか」 ※ 米の価格（円/精米kg）を比較したグラフ（2013年）を提示する。 ○発問「国産と米国産のせんべいに使われる米の獲れた量の資料があります。どんなことが分かりますか」 ※ 国内の加工用米の生産量と米国からの輸入量とをグラフで提示する。 ○発問「これまでに分かったことは、米国産を使っている理由とどうにつながるのでしょうか」

(3) 評 価

せんべいの原材料に関する疑問をもち、予想を基に解決する方法を考え、米国産のうるち米を使う理由に気付くことができる。